

2014年 大会発表題目

特別研究発表 11月8日(土) 13:30~16:30

第一会場 (K棟1階 K102教室) (13:30~14:55, 15:05~16:30)

- 101 生業変化の研究—移行経済下のラオス農山村の文化・政治生態学— 横山 智 (名古屋大学)
- 102 近代日本の地域形成研究—視角・成果・課題— 山根 拓 (富山大学)
- 第二会場 (K棟2階 K201教室) (13:30~14:55, 15:05~16:30)
- 201 平成の大合併の検証・総括と地理学—広域自治体の誕生と三つの庁舎の方式から— 西原 純 (静岡大学)
- 202 マイクロジオデータからみた積雪寒冷地の都市変容と災害リスク 橋本雄一 (北海道大学)

一般研究発表 11月9日(日) …複数発表の*は報告者

第一会場 (K棟1階 K104教室) (9:30~15:30)

- 09:30~09:55 101 イグナチオ・ロヨラと聖杯騎士伝説—イエズス会創設と海外展開をめぐる人文地理学的アプローチ— 川西孝男 (関西学院大学・院)
- 09:55~10:20 102 幕末・明治期における外国人旅行者の京都へのまなざし—英国外交官アーネスト・サトウを事例として— 長谷川奨悟 (日本学術振興会特別研究員PD)
- 10:20~10:45 103 江戸と東京の名所案内記にみる、文化的な風景の変化と連続—英国ロンドンの都市案内記との比較から考えるその関連性— 阿部美香 (同志社大学・非)
- 10:45~11:10 104 慶長小豆島絵図の作製方法 磯永和貴 (東亜大学) *・橋詰 茂 (徳島文理大学)・古田 昇 (徳島文理大学)
- 11:10~11:35 105 寛永15年日本図と萩藩調進の防長両国図 川村博忠 (東亜大学客員教授)
- 11:35~12:00 106 堀田仁助「奥州松前蝦夷図」の成立事情 神 英雄 (浜田市世界こども美術館) *・佐々木良子
- 《昼休み 12:00~13:00》
- 13:00~13:25 107 近世中後期における三井越後屋京本店の奉公人出身地とその変化 長島雄毅 (京都大学・院)
- 13:25~13:50 108 旅日記からみる旅人の観光行動—近世京都を事例として— 谷崎友紀 (立命館大学・院)
- 13:50~14:15 109 戦前期河川観光地の形成—日本ラインを対象にして— 杉山純平 (佛光大学・院)
- 14:15~14:40 110 近代後期における中位中心地の機能とその変容—常陸太田における前島同族団の系譜と事業展開を中心に— 川崎俊郎 (福島工業高等専門学校) *・河野敬一 (常磐大学)
- 14:40~15:05 111 大正昭和期における都市間地域の市街地化過程—岐阜駅周辺を事例として— 林 泰正 (中部大学・院)
- 15:05~15:30 112 近代日本におけるアジア諸地域への移民送出—外務省外交史料館所蔵「行方不明者リスト」に注目して— 花木宏直 (琉球大学)

第二会場 (K棟1階 K108教室) (9:30~15:30)

- 09:30~09:55 201 大阪府泉州地域における伝統野菜水ナスの産業化 小林 基 (大阪大学・院)
- 09:55~10:20 202 ベトナムハナム省の農村工業専業村における村落内外のネットワーク—ライスペーパーの生産を事例として— 齋藤鮎子 (関西大学・院)
- 10:20~10:45 203 フィリピン共和国における輸出向け高付加価値農産物の産地振興と貧困削減—ギマラス島のマンゴー産業を事例として— 中窪啓介 (関西学院大学・非)
- 10:45~11:10 204 台湾・桃園台地における溜池とその現状 南埜 猛 (兵庫教育大学)
- 11:10~11:35 205 愛知県一色町の養鰻経営における生産者間関係 前田竜孝 (関西学院大学・院)
- 11:35~12:00 206 ニホンウナギの資源問題と“うなぎの街・浜松” 塚本礼仁 (滋賀県立大学)
- 《昼休み 12:00~13:00》
- 13:00~13:25 207 清酒製造業における需要開発に向けたネットワークの展開—広島県を事例として—酒川 茂 (県立広島大学)
- 13:25~13:50 208 沖縄県における起業家行動と起業・創業支援環境 石丸哲史 (福岡教育大学) *・友澤和夫 (広島大学)
- 13:50~14:15 209 デリーにおけるインフォーマルな工業労働市場の形成—ムスリム地区ジャミア・ナガールの零細繊維工場を事例として— 宇根義己 (広島大学) *・友澤和夫 (広島大学)
- 14:15~14:40 210 ミニマムアクセス制度下の日本のコメ輸入と国内流通の実態 川久保篤志 (東洋大学)
- 14:40~15:05 211 企業による農業参入の地域的展開と農業地域の再編成 後藤拓也 (高知大学)

第三会場 (K棟2階 K201教室) (9:55~15:30)

- 09:30~09:55 301 (欠番)
- 09:55~10:20 302 中国の都市公園・広場にみるレジャー空間の特性—吉林省松原市を事例として— 石田 曜 (京都大学・院)
- 10:20~10:45 303 イベント・祭りからみた小倉都心部の場所性 橋田光太郎 (北九州市立高等理容美容学校)
- 10:45~11:10 304 東京大都市圏における都市空間変化のホット/コールドスポットの抽出と地図化 若林芳樹 (首都大学東京) *・小泉 諒 (首都大学東京)
- 11:10~11:35 305 非大都市圏の相対的に高い出生力の要因と問題—柏崎市を例として— 高橋眞一 (新潟産業大学)
- 11:35~12:00 306 石川県内における保育労働力供給の地域的差異 甲斐智大 (東北大学・院)
- 《昼休み 12:00~13:00》
- 13:00~13:25 307 昭和戦前期における地理学者の水害調査とその後の研究展開—稲見悦治に着目して— 谷端 郷 (立命館大学・院)

- 13 : 25~13 : 50 **308** 地理情報システムを用いた広島原爆入市被爆者の移動経路の解析
佐藤裕哉 (広島大学) ※・佐藤健一 (広島大学)・原 憲行 (広島大学)
布施博之 (広島大学)・富田哲治 (県立広島大学)・原田結花 (順天堂大学)・大瀧 慈 (広島大学)
- 13 : 50~14 : 15 **309** マレーシアのツーリストエンクレープで働く外国人労働者が観光空間形成に果たす役割—ジョージタウン・ペ
ナンロードの事例— 葉師寺浩之 (立命館大学)
- 14 : 15~14 : 40 **310** ハンガリーとスロヴァキアにまたがるノヴォフラド・ノグラード・ジオパークにおける運営と活動の実態
河本大地 (神戸夙川学院大学)
- 14 : 40~15 : 05 **311** エコツアーリズムの推進と地域—埼玉県飯能市を事例に— 平井純子 (駿河台大学)
- 15 : 05~15 : 30 **312** 大都市圏近郊都市における商業まちづくり政策の展開とその問題点—大阪府八尾市を事例に—
安倉良二 (立命館大学・非)

第四会場 (K棟2階 K203教室) (9 : 30~15:30) …Sはセッション

- 09 : 30~09 : 55 **401** 第一次世界大戦と日本の地理学 柴田陽一 (京都大学)
- 09 : 55~10 : 20 **402** 旧制中学校と比較した師範学校地理教科書の特徴 近藤裕幸 (愛知教育大学)
- 10 : 20~10 : 45 **403** 中学校社会科教科書から見た東北地方のイメージの変化 日野正輝 (東北大学)
- 10 : 45~12 : 00 **S01** モビリティ/マテリアリティ—政治・社会・文化地理学で何を語るか— 代表者: 森 正人 (三重大学)
- 404** モビリティ・マテリアリティ・アフェクト 森 正人 (三重大学)
- 405** 「寄せ場」概念の再検討—移動性と拠点性をめぐって— 原口 剛 (神戸大学)
- 406** モビリティ・境界・シティズンシップ 北川真也 (三重大学)
- 《昼休み 12 : 00~13 : 00》
- 13 : 00~13 : 25 **407** 日本統治時代における台湾の媽祖信仰—台北市士林区分天母と媽祖—
林 麗華 (建国科技大学) ※・塩川太郎 (修平科技大学)
- 13 : 25~13 : 50 **408** 南進の聖地・昭南の成立 大平晃久 (長崎大学)
- 13 : 50~14 : 15 **409** 韓国農村の「村の林」と裨補概念—全羅北道馬耳山周辺地域を事例として—
渋谷鎮明 (中部大学) ※・崔 元碩 (慶尚大学校)・李 相勳 (全州高校)
浦山隆一 (富山国際大学・山元貴継 (中部大学)・鈴木一馨 (中村元東方研究所)
- 14 : 15~14 : 40 **410** 日本列島東西境界域にける地域言語のアスペクト分布
塩川奈々美 (徳島大学・院) ※・久保博雅 (徳島大学・院)・林 琳 (徳島大学・院)
峪口有香子 (徳島大学・院, 日本学術振興会特別研究員 DC)・陳 英 (徳島大学・院)
塚本章宏 (徳島大学)・岸江信介 (徳島大学)
- 14 : 40~15 : 05 **411** Twitter 投稿データにみられる地域方言の分析—瀬戸内海沿岸地域を事例として—
峪口有香子 (徳島大学・院, 日本学術振興会特別研究員 DC) ※・桐村 喬 (東京大学)

第五会場 (K棟2階 K215教室) (13 : 00~15:30 午後のみ) …Sはセッション

- 13 : 00~13 : 25 **507** 広島・太田川放水路整備と河川敷居住—集団移転へ向けた住民の連帯・行政との交渉を焦点にして—
本岡拓哉 (同志社大学)
- 13 : 25~13 : 50 **508** 過疎自治体における「自立」言説の展開—平成の大合併期の福島県矢祭町を事例として—
青砥和希 (首都大学東京・院)
- 13 : 50~15 : 30 **S02** コミュニティの重層性と排除の政治 代表者: 前田洋介 (新潟大学)
- 509** コミュニティの政治的重層性が抱える問題—自治体内分権の批判的検討を通じて— 前田洋介 (新潟大学)
- 510** 「排除された」信仰と「取り戻された」住民—奄美大島カトリック排撃事件と地元住民—
麻生 将 (立命館大学)
- 511** コミュニティのメンバーシップと宗教・カースト—バングラデシュ農村ムスリム楽師集団の事例より—
杉江あい (名古屋大学・院)
- 512** 人種化される都市—米軍駐留とコザの変貌— 山崎孝史 (大阪市立大学)

ポスター会場 (K棟1階 K113教室)

- P01** 2010年の国勢調査における「不詳」の発生状況—5年前の居住地を中心に—
小池司朗 (国立社会保障・人口問題研究所) ※・山内昌和 (国立社会保障・人口問題研究所)
- P02** GISを用いた2拍名詞アクセントの分析—徳島県吉野川流域を事例に—
久保博雅 (徳島大学・院) ※・塩川奈々美 (徳島大学・院)
塚本章宏 (徳島大学)・岸江信介 (徳島大学)
- P03** 地理学の卒業論文指導における学生のコピペ問題と対応—愛知大学地理学専攻の事例から— 近藤暁夫 (愛知大学)
- P04** 慶尚南道金海市における都市水害と被災空間データベースの構築 村山 徹 (立命館大学)
- P05** 戦時改描図をめぐる若干の問題 山田 誠 (龍谷大学)
- P06** 和歌山県有田医療圏における救急搬送アクセシビリティの評価
熊谷美香 (和歌山県立医科大学) ※・道場浩幸 (有田市立病院)・上野雅巳 (和歌山県立医科大学)
- P07** 新宗教聖地における門前町の商業空間としての現状と課題—天理市三島町を事例に— 石坂 愛 (筑波大学・院)

シンポジウム (K棟 1階 K102 教室) (9:30~14:20)

(地理科学学会企画: 地理科学学会第31回シンポジウムを兼ねる)

テーマ「日本企業のグローバル化と若者の海外就職」

<趣旨>

1990年代初頭のバブル崩壊以降、労働市場は二極化が進展する一方、これまで以上に流動化が進んだ。それと同時に、海外で働くことが大きなブームとなった。こうしたブームを支えたのは、現地採用で雇用される未婚の女性であった。けれども、「海外で働くこと」の内実に関する研究蓄積は乏しい。さらに近年では、海外で現地採用として就職する日本人は女性だけでなく、男性にも広がりつつある。そこで本シンポジウムでは、バンコク・上海・デュッセルドルフという現地採用日本人が多い3つの都市で実施した調査に基づいて、現地採用を雇用する企業側の論理、海外で働く若者のライフストーリーや将来展望、海外で働くという若い日本人の経験を可能にしている制度的な仕組みなど社会・経済的な構造を解明する。

09:30~09:40 趣旨説明 神谷浩夫 (金沢大)・由井義通 (広島大)

09:40~10:00 SY01 「上海ドリーム」とその現実 阿部康久 (九州大)

10:00~10:20 SY02 日本のビジネス・エコシステムのグローバル化と若者の海外就職・起業 中澤高志 (明治大)

10:20~10:40 SY03 アジア大都市における日本企業の集積とサービスの担い手 鍛塚賢太郎 (龍谷大)

《休憩 10:40~10:50》

10:50~11:10 SY04 日本人若者が働くバンコクは「天使の都」か 丹羽孝仁 (宇都宮市役所)・中川聡史 (神戸大)

11:10~11:30 SY05 海外求人情報からみたグローバル人材の特徴 由井義通 (広島大)

11:30~11:50 SY06 海外就職にみられるジェンダー差と地域差 神谷浩夫 (金沢大)

11:50~12:00 質疑応答

《昼休み 12:00~13:00》

13:00~13:20 コメント 石川義孝 (京都大)・Rolf Schlunze (立命館大)

13:20~14:20 総合討論

研究会 11月9日(日) 15:45~17:15 (部会アワー)

〈歴史地理研究会 第137回〉(K棟1階 K104教室)

近世における島嶼農耕空間と農法の含意—瀬戸内海の島嶼を中心に— 野間晴雄 (関西大学)

〈地理思想研究会 第117回〉(K棟1階 K108教室)

実践地理学そして公共地理学—阿蘇山でのエコ뮤ゼ活動から— 梶原宏之 (阿蘇たにびと博物館)

〈都市圏研究会 第53回〉(K棟2階 K201教室)

『よくわかる都市地理学』(ミネルヴァ書房)刊行をめぐって 話題提供: 藤井 正 (鳥取大学)・神谷浩夫 (金沢大学)

〈地理教育研究会 第31回〉(K棟2階 K203教室)

テーマ: 市民性と地理教育

市民性を育成する地理授業—社会的論争問題に着目して— 永田成文 (三重大学)

地理オリンピック報告会

第11回国際地理オリンピック クラクフ大会を引率して 井上明日香 (神奈川県立元石川高等学校)

〈政治地理研究会 第11回〉(K棟2階 K215教室)

テーマ: 監視社会と防犯

神奈川県における海水浴場の健全化に向けた取組と地理的スケール—海の家「クラブ化」問題を中心に— 杉山和明 (流通経済大学)

※ 「2014年8月広島土砂災害」関連緊急ポスター発表

なお、11月9日(日)のポスター会場((K棟1階 K113教室))では、「2014年8月広島土砂災害」関連の緊急ポスター発表を地理科学学会と共催で実施します。